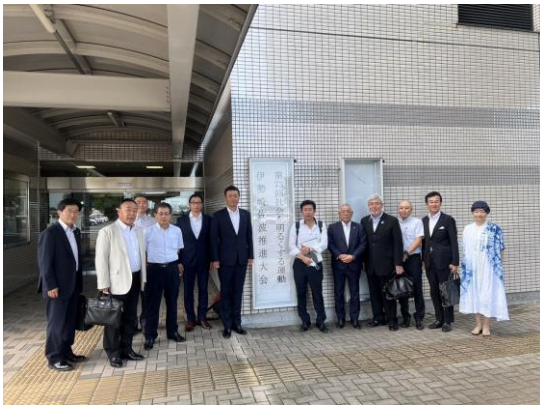


社会を明るくする運動 伊勢崎佐波推進委員会

推進大会 参加報告書

2023年7月10日(月)午後1時30分から午後3時30分まで、境総合文化センター 大ホールにて、標記の大会があり、当クラブも、社会を明るく運動に賛同していることから、総勢15名で参加しました。参加者は、原会長、加藤幹事、高橋郁夫パスト会長、峯岸パスト会長、宮澤さん、臂さん、多部田さん、大和さん、柳井さん、安部さん、高橋美清さん、松浦さん、下田さん、窪田純久さん、五十嵐 でした。

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動です。



参加者集合写真



スマイリーキクチ氏

会場いっぱいの参加者に、社会を明るくする運動に関する啓発品の配布があり、また、主催者あいさつ、推進委員の紹介、総理大臣からのメッセージの伝達等があり、その後、スマイリーキクチ氏による講演会がありました。そのテーマは、「言葉の責任 ネットの被害者・加害者にならないために ～命の大切さ、人生の大切さ、あきらめない心～」。

同氏は、インターネットの掲示板に殺人事件の共犯者だという、事実無根の書き込みをされ、10年間にわたり誹謗中傷・脅迫・嫌がらせを受け、殺害予告の書き込みもされるなど、事態は悪化。警察、弁護士、ボランティア団体に相談するも、相手にしてもらえず、暗中模索する中で一人の刑事と出会い、46歳から17歳までの男女19人が名誉毀損・脅迫の容疑で摘発。そういった経験をもとに、ネット上での誹謗中傷の怖さ、言葉の責任について講演がありました。とても、感じるもの・得るものがありました。

ロータリーにおいても、DEIは重視されております。ちょっとした「間違い」「過ち」「不運」から、社会的にはじかれた人の手を少しでも引いてあげて、よりよい社会の一員とし、社会の力に変え、生きにくさのある日本社会を少しでもよいものにできたら、幸いです。

ともに、頑張りましょう。

報告者 五十嵐秀行